

**区分：Ⅲ**

号機	7号機	
件名	運転中の7号機における「主蒸気隔離弁自動隔離警報」の発生について	
事象の概要	<p>平成 22 年 8 月 20 日午前 5 時 15 分、定格熱出力一定運転中の当所 7 号機において、4 区分ある「主蒸気隔離弁自動隔離警報*<sup>1</sup>」のうちの 1 区分*<sup>2</sup>から警報が発生しました。</p> <p>直ちにプラントの運転状態を確認したところ、主要なプラントパラメータ等に変動はなく、実際に主蒸気隔離弁は動作しておらず運転状態に異常がないことから、主蒸気隔離弁を自動で閉じる制御回路の基板等の軽微な故障と判断しました。</p> <p>なお、本事象による外部への放射能の影響はありません。</p> <p><b>* 1 主蒸気隔離弁自動隔離警報</b></p> <p>主蒸気配管に破断等が発生した場合に、放射性物質を含む蒸気が外部へ放出されることを防ぐために、主蒸気配管の原子炉格納容器の内側と外側にそれぞれ 4 弁ずつ設置されている主蒸気隔離弁を閉める際に発生する警報。</p> <p><b>* 2 4 区分ある「主蒸気隔離弁自動隔離警報」のうちの 1 区分</b></p> <p>当該警報を発生させる制御回路は 4 つの区分で構成されており、そのうちの 2 つ以上の区分が動作した場合に、実際に主蒸気隔離弁を閉める信号が出る。誤動作により 1 区分だけ動作した状態であっても、残りの 3 区分のうち 1 区分以上が動作しなければ、実際に主蒸気隔離弁が閉まることはない。</p> <p>なお、改良型沸騰水型である 6、7 号機では、誤動作した 4 つのうちの 1 区分を制御回路から切り離して残りの 3 区分で運転を続けることが認められている。</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p>&lt;安全上の重要度&gt;</p> <p>安全上重要な機器等 / その他設備</p>	<p>&lt;損傷の程度&gt;</p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	今後、故障箇所の調査を実施し、取替・修理等を行う予定です。	